

# 委員会の審査報告 6月定例会

## 市民との契約、ごみ袋料金変動相場制の判断基準は？

6月定例会市議会で各委員会に付託された議案は、審査の結果、いずれも原案どおり可決等すべきと決定しました。

各委員会での主な内容は次のとおりです。

なお、請願・陳情の審査結果は16ページに掲載しています。

### 新交通システム調査特別委員会

当特別委員会で審査した案件は、議案1件です。

◎平成22年度総社市一般会計補正予算(第1号)

月の事業スタートまでの大きなスケジュールを説明してほしい。

には導入経費の補正予算を計上し、地域公共交通会議を1月までに開催。同意が得られれば2月に運輸局の許可を得る予定である。市民には広報紙等で予約の方法などを周知したい。

### 総務文教委員会

当委員会で審査した案件は、議案6件、請願1件(継続審査分)です。

◎専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例の一部改正)

問 扶養控除分を知りたい。  
答 子ども手当の創設に伴い、国税分の38万円の控除がなくなる。

問 10月からたばこの値段が上がるが、今後の総社市のたばこ税の影響はどうか。  
答 売り上げが下がる予想で、前年度の3億1900万円から、今回は2億8300万円と低めに設定している。

問 市内のデジタル放送難視聴地域の状況と対策を知りたい。  
答 デジタル化により、新たな難視聴地域が発生するが、CATVの加入やデジタルサポート(国のサポート)と連絡を取りながら、間に合わせたい。

### 建設消防委員会

当委員会で審査した案件は、議案1件です。

◎専決処分の承認を求めること

とについて(平成21年度総社市一般会計補正予算(第6号))  
問 今後の清音神在本線改良事業の取り組みはどうか。

答 平成22年度は、右岸側の用地補償及び橋脚、橋台を施工する計画である。富原工区は、詳細設計、測量、用地交渉に入る予定である。

### 厚生委員会

当委員会で審査した案件は、議案5件、請願5件(継続審査分)です。

◎総社市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正

問 家計を圧迫しているという市長の提案理由は過大表現であると思うがどうか。

答 大小については個人差があるが、家計を圧迫することには間違いはない。さらに今回の提案理由の一つとして、有料化を機に市民が努力した結果、20%のごみ削減ができ

た。よって家庭への負担を軽減したい。

問 紙おむつのごみ無料化について議員との論議がなされなかったが、どうしてか。

答 論議の時間は確かに設けなかったが、今回思い切った半額にしたことで対応したと理解されたい。

問 市長の排出量を増やさないという市民との契約、また変動相場制による3年ごとの見直しなどがあるが、具体的な規定がない。判断基準を示すべきと考えるがどうか。

答 リバウンドによる値上げの防止策として仮称ごみ応

援隊などを作り、さらに町内企業、団体等も含めた市民とごみ減量に向けて努力していきたい。その目安として3年後という判断をしている。そして、市民への周知徹底に全力を挙げたいと思っている。

◎総社市小児医療費給付条例の一部改正  
問 給付や申請までにかかる期間や給付の対象はどうか。

答 償還給付での実施。将来人数によっては随時払も検討したい。給付対象に関しては、現在の小児医療費と同じ対象である。

### 産業水道委員会

当委員会で審査した案件は、議案4件、請願3件(うち継続審査分1件)、陳情1件(継続審査分)です。

◎工事委託契約の締結

問 下水処理場電気設備の耐用年数は何年か。  
答 一般的には15年から35年。診断の中で取り替えが必要なものについて順次取り替えていつている。

◎平成22年度総社市一般会計補正予算(第1号)  
問 観光プロジェクト提案の垂れ幕やのれんは、「れとろーど」の日程までにその道案内も含めて間に合うのか。財源的には単市負担か。

答 「れとろーど」の期間に間に合わせたい。費用は単市である。